

観点別学習状況評価問題

《解答》

第1単元 かけ算①

問題番号	配点	解 答 (許容)	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	20 (各5)	① 6 ② 5	知技 乗法の交換法則を理解している。	交換法則や乗法の性質を児童が見つける活動を重ねるなど、日常的に指導していくとよい。
		③ 8 ④ 4	知技 乗法の性質を理解している。	
②	20 (各5)	2×9、9×2 3×6、6×3 (順不同)	知技 1つの数を2つの数の積とみることができる。	九九カードを利用して、1つの数を2つの数の積とみる活動を取り入れる。
③	式 答 20 (各10)	12×3=36 (12×3) 36円	知技 乗法について成り立つ性質を用いて被乗数が10を超えるときの乗法の答えを求めることができる。	アレイ図や、かけ算のきまりを使って、既習事項(九九)に帰着すれば答えが求められることに気づかせる。
④	20 (各5)	① 0 ② 0	知技 1位数×0、0×1位数、10×1位数の計算ができる。	乗数、被乗数の一方、または両方が0の場合の積が0になることを、具体的な場面を通して児童が気づけるようにする。
		③ 0 ④ 80		
⑤	20 (各5)	① 2 ② 4	知技 $a \times \square = b$ 、 $\square \times a = b$ の□の数を求めることができる。	$\square \times a = b$ の場合は、交換法則を使って、 $a \times \square = b$ とみてaの段の九九を使えばよいことに気づかせる。
		③ 7 ④ 9		

第1単元 かけ算②

問題番号	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	みほ…6、8 こうた…8 りえ…8	思判表 乗法のきまりを使って、かけ算九九の答えの見つけ方を考え、説明している。	乗法のきまりを学習する際、九九表を使ってきまりを見つけ出せるようにするとよい。 ・3×4の答えは4×3の答えと同じ。 ・3の段は、かける数が1増えると答えが3増える。
②	①② 3(と)10 10(と)3 4(と)9 9(と)4 5(と)8 8(と)5 6(と)7 7(と)6 (いずれも可)	思判表 九九を用いて、13×4の計算の仕方を多様に考えることができる。	多様な考えが思いつかない児童には、アレイ図を用いて数を分解し、部分積を求めて考えればよいことに気づけるようにするとよい。

▶ 思考力・判断力・表現力の評価

評価	A	B	C
正答数	4問以上	3～2問	1～0問

▶ 主体的に学習に取り組む態度の評価

評価	A	B	C
選択内容 記述内容	3項目とも意欲的であり、感想とさらに学習したいことの2つの観点で書かれている。	3項目ともおおむね意欲的であり、感想とさらに学習したいことのどちらかの観点で書かれている。	どの項目も消極的であり、感想やさらに学習したいことが書かれていない。